



# 学校だより

令和6年6月26日  
横浜市立豊田小学校  
7月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

## 暑すぎて プールでの学習を中止

校長 梅田 巖

「えっ？暑すぎてプールでの学習を中止？」と不思議に思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。6月24日（月）。前日の雨も影響してか、湿度が高く日差しがとても強い朝でした。時間が経過してもじめじめと湿度が高いまま気温がどんどん上がっていくのが分かりました。WBGT計が「ピーピーピー」と鳴り続ける状況となりました。「WBGT（暑さ指数）が33℃以上では運動は中止」という「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」に則ってやむなく「プールでの学習を中止」にしたというわけです。

横浜市教育委員会は、平成30年夏の酷暑を受け、令和元年5月に「横浜市立学校 熱中症 対策ガイドライン」を策定しました。今般、気候変動適応法等の一部を改正する法律が施行されるなどを受け令和6年6月に改訂版となりました。少し内容を紹介します。

### 1 熱中症とは

体温を平熱に保つために汗をかき、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）の減少や血液の流れが滞るなどして、体温が上昇して重要な臓器が高温にさらされたりすることにより発症する障害の総称です。高温環境下に長期間いたとき、あるいはいた後の体調不良はすべて熱中症の可能性がります。◆死に至る可能性のある病態です。◆予防法を知って、それを実践することで、防ぐことができます。◆応急処置を知っていれば、重症化を回避し後遺症を軽減できます。

「重要な臓器が高温にさらされたりすることにより 発症する障害」「死に至る可能性のある病態」「後遺症」など、熱中症のメカニズムや危険性について記しています。

### 2 熱中症の重症度分類と対応

軽症の場合「立ちくらみ」や「筋肉のこむら返り」などを生じますが、意識ははっきりしています。中等症では、全身の倦怠感や脱力、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢等の症状が見られます。このような症状が現れた場合には、直ちに医療機関へ搬送する必要があります。重症では高体温に加え意識障害がみられます。けいれん、肝障害や腎障害も合併し、最悪の場合には死亡する場合があります。熱中症の症状には、典型的な症状が存在しません。暑さの中において具合が悪くなった場合には、まず、熱中症を疑い、応急処置あるいは医療機関へ搬送するなどの措置を講じるようにします。

「立ちくらみや筋肉のこむら返り」「全身の倦怠感や脱力、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢等の症状」。熱中症の症状には、典型的な症状が存在しないことや、暑さの中において具合が悪くなった場合には、まず、熱中症を疑うことが記されています。

ガイドラインは予防策に多くのページを割いており、本校でプール学習を中止とした基準も「6 暑さ指数（WBGT）と学校の対応」のページに示されています。

今年の夏はとても暑くなる予測がされています。暑くない日は元気よく体を動かすことも大切にしつつ、熱中症にならぬよう「横浜市立学校 熱中症 対策ガイドライン」に則り、一人ひとりの子どもたちの安全を守っていきたいと思います。ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。